

「目標」別取組状況検証表

目標	1	県民に開かれた知の拠点
目指す目標像	県立図書館は、全ての県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える「知の拠点」として、生涯学習を通じて豊かな知識と心を育む場を提供します。	
関連取組	1-①県民が主体的に集い・交流・創造する「場」づくり 1-②展示コーナーを活用した情報発信 1-③ボランティア等県民との協働 2-①障害者等向け資料の充実 2-②障がい者等サービスについての広報 2-③研修会・講演会等の開催 3-①多文化エリアのサービス充実 3-②外国人向けの情報提供の充実 4-①窓口委託業務のモニタリング等 4-②満足度アンケートの実施 5-①ホームページの充実 5-②広報誌・SNSによる情報発信 5-③各種イベントへの参加	

I 活動指標の進捗状況 (Plan・Do)

令和6年度									
活動指標	活動指標名	備考(活動概要)	年度別計画	R3	R4	R5	R6(A)	R7	進捗状況
				実績値	R3	R4	R5	R6(B)	
活動指標1	イベント実施回数(連携イベント含む)	【計画の概要】(特別整理期間を除き)週に1回以上開催する。 【R6の状況】多くのイベントを開催することができ、計画値を達成した。 ・夏休み科学工作教室 ・わたた〜バス感謝祭乗りほ〜DAY連携イベント ・子育て応援イベント『エジソンのたまご』	年度別計画	50回	50回	50回	50回	50回	順調
	実績値		60回	91回	82回	120回	240.0%		
活動指標2	一般展示実施回数	【計画の概要】R2〜R4展示実施回数の平均値を設定。 ※R3〜R4までは、展示稼働率を活動指標として記載していたため、参考として実績値下段には、展示稼働率(展示延べ日数/(開館日数×展示架総数))を記載。	年度別計画	-	-	218回	218回	218回	順調
	実績値		212回(86.1%)	259回(92.8%)	205回(98.6%)	216回(99.9%)	99.1%		
活動指標3	障害者向け資料受入冊数	【計画の概要】大活字本の年間発行冊数(毎年60冊程度)を踏まえ、最低限の収集冊数として設定。デジタール図書やLLブック、さわる絵本等は出版状況等に応じて収集を行う。 【R6の状況】大活字本88冊 LLブック3冊 デジタール図書等39冊	年度別計画	60冊	60冊	60冊	60冊	60冊	順調
	実績値		213冊	101冊	123冊	130冊	216.7%		
備考(その他の活動等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ネパールコーナー新設 ○台湾留学フェア ○アメリカ留学フェア ○LL利用案内(やさしい日本語)の作成・配布(障がい者サービス広報関連) ○英語じゃなくてもいいんです!やさしい日本語で話そう(セミナー) ○夏休み ゆんたく映画祭(映画上映会、ワークショップ) ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画展示(通年) ○自主学習席の増加(28席) 								

II 成果指標の達成状況 (Do)

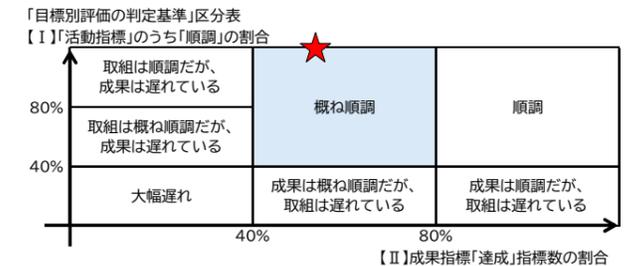
成果指標	成果指標名	(参考)	基準値		実績値					計画値	目標値	R6年度達成状況
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6	R7		
成果指標1	ホームページアクセス(セッション)数	389,782	366,285	375,786	418,133	383,241	460,502		393,257	400,000	達成	
	状況説明	【目標値設定理由】移転開館直後のR1から概ね1万アクセス増【集計条件等】Googleアナリティクスで当該期間を指定した際の「アクセス数」とする(図書館内からのアクセスを除く)。 【R6状況】座席予約ナビ「とりたろう」やAI蔵書探索の導入等もあり、ホームページアクセスが順調に伸び目標を達成した。月平均38,375セッションのアクセスがあった。										
成果指標2	SNSインプレッション数	X(旧Twitter) 1,944,730	2,700,463	3,368,258	1,644,717	821,824	1,047,717		3,742,848	4,000,000	未達成	
	Youtube	未実施	13,779	42,275	72,448	85,380	91,572					
合計		1,944,730	2,714,242	3,410,533	1,717,165	907,204	1,139,289	0				
状況説明	【目標値設定理由】R1実績の概ね2倍【集計条件等】旧Twitter及びYoutubeの月別のインプレッション(ページビューに相当)【R6状況】X(旧Twitter)及びYoutubeについて、インプレッション数はR5年度より増加したが、計画値を達成することはできなかった。X(旧Twitter)については、投稿頻度を増やしているが、R4からの仕様変更等による影響が続いており、インプレッション数は計画値よりも低くなっている。											
成果指標3	利用登録者数	24,376人	16,586人	15,154人	18,084人	16,646人	17,043人		23,317人	25,000人	未達成	
	状況説明	【目標値設定理由】移転開館直後のR1実績以上の利用者数を目指す。【集計条件等】当該年度内に利用のあった登録者数、図書館システムの「地区別登録者統計」で年度末日を基準日とし、「1年以内に利用した登録者のみ」を指定して集計【R6状況】年齢別では19〜22歳、30代以外は、全ての年齢層で増加。特に16〜18歳、70歳以上の増加率が高くなっている(全体2.4%に対して、16〜18歳20.9%、70歳以上10.6%)。										
成果指標4	利用者総合満足度(来館利用者)	-	-	88.5%	85.4%	88.7%	89.4%		80%	80%	達成	
	状況説明	【目標値設定理由】満足度8割以上【集計条件等】来館利用者に対する満足度調査のうち、「県民に開かれた知の拠点」としての総合的な満足度について、「満足」、「どちらかといえば満足」を足した割合(「わからない」とした人数は母数から除く)とする。【R6状況】施設満足度 81.8%、資料満足度 89.4%、利用者対応満足度 97.1%										

III 目標の推進状況の分析 (Check)

(1) 目標の推進状況

I 活動指標の進捗状況 (「順調」の割合)	100.0%
II 成果指標の達成状況 (「達成」の割合)	50.0%

目標推進状況: 概ね順調



(2) 目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「概ね順調」である。活動指標については、各活動指標を着実に実施することができ、全てが順調となった。成果指標については、「SNSインプレッション数」、「利用登録者数」が目標未達成となった。「SNSインプレッション数」に関しては、前年度と比較すると実績値は伸びているが、計画値とは開きがある。X(旧Twitter)の投稿回数を増やす等、目標達成に向けて取組を継続しているが、X(旧Twitter)の仕様変更による影響など外部の影響を大きく受けるため、成果指標として妥当か検討が必要である。「利用登録者数」に関しては、多くの年齢層で増加しているが、19〜22歳、30代は減少が続いている。アンケート調査で今年度利用していないと回答した当該年齢層の意見には、図書館を利用する必要がなかった、県立図書館が遠い、駐車料金が高等の意見があるため、対策を行う必要がある。

IV 目標の推進戦略案 (Action)

- 19〜30代向けにビジネス関係のイベントを実施する等、図書館の利用促進を図る。
- 遠隔地貸出・返却サービス及びオンライン利用者登録を推進し、県立図書館に来館しなくても利用ができるよう取組を図る。

「目標」別取組状況検証表

目標	2	琉球・沖縄関係資料の中核的図書館
目指す目標像	琉球・沖縄の文化継承・発展の中核となり、誇りうる図書館として、県民のアイデンティティの継承発展に資すること等を目的に、蔵書の核となる郷土資料の充実・保存・活用を図り、文化の創造に貢献します。	
関連取組	6-①郷土資料の網羅的収集 6-②貴重書の継続的な調査・収集 6-③移民関連資料の収集・提供 6-④視聴覚資料の調査・収集・提供 7-①適切な保存環境の整備及び収蔵計画の策定 7-②寄贈資料整理計画の策定 7-③郷土資料の修復・デジタル化の実施 8-①貴重資料・新収蔵資料等に係る展示会の開催 8-②図書館資料を活用した講座・セミナー等の開催 8-③デジタルアーカイブの充実 8-④郷土資料関連サービスにかかる情報発信	

I 活動指標の進捗状況 (Plan・Do)

令和6年度									
活動指標名	備考(活動概要)	活動指標名	年度別計画	R3	R4	R5	R6(A)	R7	進捗状況
				R3	R4	R5	R6(B)	達成割合 B/A	
活動指標1	【計画の概要】H30、R1の実績を考慮し、2,000冊/年の登録を行う。※琉球・沖縄関係の出版資料は全点購入を原則とする。 【R6の状況】県内外の郷土関連資料の出版情報を確認しながら確認できた資料は全て購入を行ったが、出版タイトル数が計画値よりも下回っているため、進捗状況はやや遅れとなった。	郷土資料受入冊数(購入)	年度別計画	2,000冊	2,000冊	2,000冊	2,000冊	2,000冊	やや遅れ
		実績値	1,314冊	1,774冊	1,089冊	1,313冊	65.7%		
活動指標2	【計画の概要】習熟度の高い登録員が新システムで登録したR1実績を考慮し、5,000冊/年の登録を行う。 【R6の状況】当年の寄贈の受入を通常通り行った。それに加えて過年度の大型寄贈の整理が進んだが、ポスターなどの装備に時間がかかる資料もあったため登録にやや遅れが見られた。	郷土資料受入冊数(寄贈)	年度別計画	5,000冊	5,000冊	5,000冊	5,000冊	5,000冊	やや遅れ
		実績値	5,418冊	4,957冊	3,410冊	3,402冊	68.0%		
活動指標3	【計画の概要】2箇所×12ヶ月→24回/年 実施する。 【R6の状況】移民関係(「ウヤファーフジヌミチ(先祖の道)~沖縄からブラジルへ渡ったある家族の物語~」)、「頭上運搬」展、移民資料展、新収蔵資料展、レファレンス事例展示、追悼展示、受賞展を行ったほか、過去に作成したパネルを活用した展示も実施した。	琉球・沖縄関係展示実施回数	年度別計画	24回	24回	24回	24回	24回	概ね順調
		実績値	39回	79回	39回	21回	87.5%		
活動指標4	【計画の概要】郷土史講座6回、歴史講座1回の他に1回開催する。 【R6の状況】移民関係講座2回、郷土史講座5回、歴史講座1回、図書館セミナー2回を開催。	琉球・沖縄関係講座実施回数(延べ)	年度別計画	8回	8回	8回	8回	8回	順調
		実績値	9回	7回	8回	10	125.0%		
活動指標5	【計画の概要】12件/年※毎月1件の掲載を目指す。 【R6の状況】計画どおり12件の事例登録を行った。	レファレンス協同データベース掲載件数	年度別計画	12件	12件	12件	12件	12件	順調
		実績値	12件	12件	12件	12件	100.0%		
備考(その他の活動等)	○啓明会沖縄関係資料の寄贈(寄贈者:与那原恵氏(ノンフィクション作家))								

II 成果指標の達成状況 (Do)

成果指標名	(参考)	基準値	実績値					計画値	目標値	R6年度達成状況
			R1	R2	R3	R4	R5			
成果指標1	レファレンス協同データベースアクセス数	223,270	224,474	225,630	172,281	184,810	254,267	200,000	200,000	達成
状況説明	【目標値設定理由】H26-28の平均アクセス数である20万アクセスを今後も維持する。 【R6状況】前年度比137%となっており、順調な伸びを見せている。 ※R6登録(新規・変更)12件									
成果指標名	(参考)	基準値	実績値					計画値	目標値	R6年度達成状況
			R1	R2	R3	R4	R5			
成果指標2	琉球・沖縄関係講座満足度	79.0%	90.0%	99.0%	81.3%	86.3%	88.2%	80%	80%	達成
状況説明	【目標値設定理由】満足度8割以上 【R6状況】郷土史講座:88.5%、歴史講座:85%、移民講座:91% ※「講座に満足しましたか。」の質問に無回答とした人数は母数から除く。									
成果指標名	(参考)	基準値	実績値					計画値	目標値	R6年度達成状況
			R1	R2	R3	R4	R5			
成果指標3	郷土フロア・サービス利用者満足度	-	-	83.3%	91.7%	96.4%	93.5%	80%	80%	達成
状況説明	【目標値設定理由】満足度8割以上 【集計条件等】来館利用者に対する満足度調査のうち、「郷土資料フロア・サービス」を利用した利用者の満足度について、「満足」、「どちらかといえば満足」を足した割合(「わからない」とした人数は母数から除く)とする。 【R6状況】満足52.6%、どちらかといえば満足40.9% 回答数137									

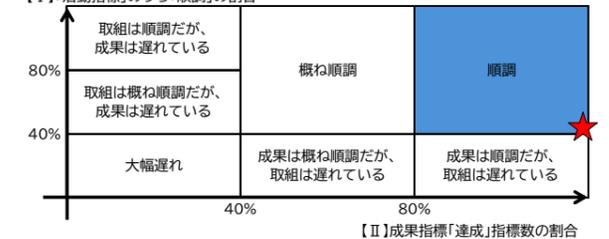
III 目標の推進状況の分析 (Check)

(1) 目標の推進状況

I 活動指標の進捗状況(「順調」の割合)	40.0%
II 成果指標の達成状況(「達成」の割合)	100.0%

目標推進状況	順調
--------	----

「目標別評価の判定基準」区分表
【I】活動指標のうち「順調」の割合



(2) 目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「順調」である。
活動指標については、「郷土資料受入冊数(購入)」及び「郷土資料受入冊数(寄贈)」はやや遅れ、「琉球・沖縄関係展示実施回数」は概ね順調、その他の2指標は順調となった。「郷土資料受入冊数(購入)」に関しては、出版情報が確認できた資料は、全て収集できており、実質的には順調となっている。「郷土資料受入冊数(寄贈)」に関しては、ポスター等の時間を要する資料の登録を行ったこともあり、やや遅れとなった。
成果指標については、全ての指標で目標を達成となった。

IV 目標の推進戦略案 (Action)

○各取組については、令和6年度同様に実施する。

「目標」別取組状況検証表

目標	3	地域や県民の課題解決を支援する図書館
目指す目標像	地域や県民の多様化・専門化する課題に対応した情報を広範囲に収集し、活用できる図書館を目指します。	
関連取組	9-①健康・医療、子育て等、課題解決サポートの充実 10-①就労、企業、経営に関する資料の収集 10-②関連機関等と連携した相談会、セミナー、講座等の開催 11-①国・県・市町村等事業との連携 12-①琉球・沖縄に関するレファレンス対応能力の向上 12-②郷土資料関連サービスにかかる情報発信 12-③移民関係資料を活用したルーツ調査等の実施	

I 活動指標の進捗状況 (Plan・Do)

令和6年度									
活動指標	活動指標名	備考(活動概要)	年度別計画	R3	R4	R5	R6(A)	R7	進捗状況
				実績値	達成割合 B/A				
活動指標1	パスファインダー・ブックリスト作成・更新数(一般)	【計画の概要】 毎月1件の作成を目指す(12件/年)。 【R6の状況】 【内訳】 ・パスファインダー: 9件(作成5件、更新4件) ・ブックリスト(紙): 9件(作成9件)	年度別計画	12件	12件	12件	12件	12件	順調
	実績値	16件	21件	3件	18件	150.0%			
活動指標2	パスファインダー・ブックリスト作成・更新数(郷土)	【計画の概要】 四半期ごとに1テーマを作成する。 【R6の状況】 【内訳】 パスファインダー3件(更新3件)	年度別計画	4件	4件	4件	4件	4件	概ね順調
	実績値	5件	5件	4件	3件	75.0%			
活動指標3	一般展示実施回数 ※再掲	【計画の概要】 R2~R4展示実施回数の平均値を設定。 ※R3~R4までは、展示稼働率を活動指標として記載していたため、参考として実績値下段には、展示稼働率(展示延べ日数/開館日数×展示架総数)を記載。	年度別計画	-	-	218回	218回	218回	順調
	実績値	212回(86.1%)	259回(92.8%)	205回(98.6%)	216回(99.9%)	99.1%			
活動指標4	レファレンス協同データベース掲載件数 ※再掲	【計画の概要】 12件/年※毎月1件の掲載を目指す。 【R6の状況】 計画どおり12件の事例登録を行った。	年度別計画	12件	12件	12件	12件	12件	順調
	実績値	12件	12件	12件	12件	100.0%			
活動指標5	課題解決支援関連図書購入冊数	【計画の概要】 H30-R2と同規模の購入量を確保する。 【集計条件等】 集計の都合上、冊数は選書ベースとする。 冊数は、「課題解決」「健康医療」「子育て支援」「備品課題」(備品扱いの課題解決用図書)の区分で選書発注された冊数の合計とする。 【R6の状況】 R5と比較すると購入冊数は増加したが、計画値には届かなかった。	年度別計画	1,500冊	1,500冊	1,500冊	1,500冊	1,500冊	大幅遅れ
	実績値	1,566冊	846冊	681冊	847冊	56.5%			
備考(その他の活動等)	○“Finding Okinawan Roots” ProjectがLibrary of the Year 2024 で大賞を受賞 ○移民ルーツ調査217件実施 ○「がん」について知っておきたいこと(講演会)								

II 成果指標の達成状況 (Do)

成果指標	成果指標名	(参考)	基準値	実績値				計画値	目標値	R6年度達成状況
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6	
成果指標1	オンラインデータベース端末利用回数	1,097回	837回	669回	980回	860回	1,751回	1,127回	1,200回	達成
	状況説明	【目標値設定理由】新型コロナウイルス感染症の拡大による休館期間を除き、R1実績と同程度【集計条件等】座席予約システムの統計機能により、各データベース用端末5台(①②県内新聞③県外新聞④法令・官報、⑤市場情報・商圏分析データ)の利用回数を集計する。※各データベースごとのアクセス件数では集計できない為、端末の利用回数を集計するものとする。 【R6状況】 R5年度の図書館システム更新に伴う集計方法の変更(1回の使用時間が30分単位)及びオンラインで座席予約が可能となったことによる利便性の向上により、オンラインデータベース端末の利用回数が増加した。								
成果指標2	レファレンス協同データベースアクセス数※再掲	223,270	224,474	225,630	172,281	184,810	254,267	200,000	200,000	達成
	状況説明	【目標値設定理由】H26-28の平均アクセス数である20万アクセスを今後も維持する。 【R6状況】 前年度比137%となっており、順調な伸びを見せている。 ※R6登録(新規・変更)12件								
成果指標3	ビジネスルーム利用数	95件	34件	14件	14件	40件	67件	87件	100件	未達成
	状況説明	【目標値設定理由】R1実績以上【集計条件等】自主事業による利用と貸出による利用の合計数とする。 【R6状況】 新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、徐々に利用件数が増えてきている。 【内訳】自主事業: 4件、貸出: 63件								
成果指標4	レファレンスサービス利用者満足度	-	-	100%	97.1%	97.4%	92.6%	80%	80%	達成
	状況説明	【目標値設定理由】満足度8割以上【集計条件等】来館利用者に対する満足度調査のうち、「レファレンス」を利用した利用者の満足度について、「満足」、「どちらかといえば満足」を足した割合(「わからない」とした人数は母数から除く)とする。 【R6状況】 満足61.1% どちらかといえば満足31.5% 回答数54								

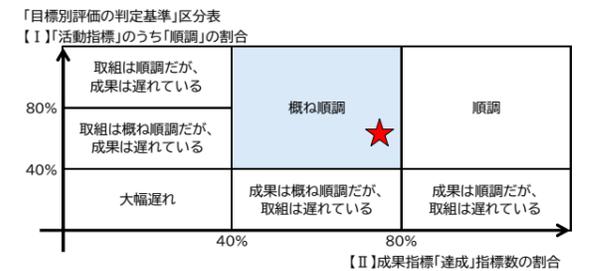
III 目標の推進状況の分析 (Check)

(1) 目標の推進状況

I 活動指標の進捗状況 (「順調」の割合)	60.0%
II 成果指標の達成状況 (「達成」の割合)	75.0%

↓

目標推進状況	概ね順調
--------	------



(2) 目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「概ね順調」である。
活動指標については、「パスファインダー・ブックリスト作成・更新数(郷土)」が概ね順調、「課題解決支援関連図書購入冊数」が大幅遅れ、その他の3指標が順調となった。パスファインダー・ブックリスト作成・更新数(郷土)に関しては、組織体制の変更(職員数の減少及び班編成の変更)による作成の遅れもあり、目標値を下回った。課題解決支援関連図書購入冊数に関しては、前年度よりも購入冊数は増加し、達成割合は約11%増となったが、目標値とは開きがある。
成果指標については、「ビジネスルーム利用数」が未達成、その他の3指標は達成となった。ビジネスルーム利用数に関しては、利用数は毎年度増加しており、新規の利用者も増えていることから、今後は目標値に近づいていく見込みである。

IV 目標の推進戦略案 (Action)

- 資料費予算の確保
- ビジネスルームの利用促進に資する広報の実施

「目標」別取組状況検証表

目標	4	県域の中核となる図書館
目指す目標像	すべての県民に等しく読書環境を提供するため市町村立図書館及び図書館未設置町村を支援するとともに、関係機関とのネットワークの充実を図り、県全体の図書館サービスの向上に寄与します。	
関連取組	13-①遠隔地返却、協力貸出、電子書籍等による利便性の向上 14-①子どもの読書活動推進に資する研修等の開催 14-②読書活動推進団体及び学校図書館の支援と連携 14-③子どもの読書活動推進に資する図書の実践及び展示会・イベント等の開催 15-①相互貸借に係る資料配送の支援 15-②市町村立図書館等との連携協力及び情報提供の強化 16-①移動（空とぶ）図書館、一括貸出、協力貸出の実施 16-②関係町村との連携協力・情報提供の強化 17-①関連・関係機関と連携した事業等の開催及びネットワークの強化 18-①県内図書館職員を対象とした研修計画の策定と実施 18-②県立図書館職員の専門性の向上及び研修機会の確保	

I 活動指標の進捗状況 (Plan・Do)

令和6年度									
活動指標1	活動指標名	遠隔地返却サービス利用可能箇所数(累積値)	R3	R4	R5	R6(A)	R7	進捗状況	概ね順調
	備考(活動概要)	【計画の概要】 R7年度までに23箇所(R1実施意向調査に基づく)で利用可能となることを目指す。 【R6の状況】 広報等を行ったが、遠隔地返却サービスの加入に応じる市町村が無かったため、計画値を達成できなかった。	15箇所	17箇所	19箇所	21箇所	23箇所		
活動指標2	活動指標名	学校等訪問回数	R3	R4	R5	R6(A)	R7	進捗状況	順調
	備考(活動概要)	【計画の概要】 1ヶ月あたり3回実施 ※学校の他、未設置町村等支援の為に訪問や、県内関係団体等からの講師依頼等を含む。 【R6の状況】 ・学校図書館支援訪問(小・中・高・特)9回 ・図書館未設置離島町村学校等訪問(小・中)5回 ・研修講師派遣依頼等21件	36回	36回	36回	36回	36回		
活動指標3	活動指標名	移動図書館開催回数	R3	R4	R5	R6(A)	R7	進捗状況	順調
	備考(活動概要)	【計画の概要】 図書館未設置町村等で各1回実施する。 ※R5までは、図書館未設置町村等で各2回実施を目標としていたが、事業予算減により、R6からは各1回実施に計画を変更。 【R6の状況】 図書館未設置町村等で移動図書館を各1回実施することができ、計画値を達成した。	40回	40回	40回	21回	21回		
活動指標4	活動指標名	専門性の向上に資する研修、研究会、視察等への参加人数(延べ)	R3	R4	R5	R6(A)	R7	進捗状況	順調
	備考(活動概要)	【計画の概要】 毎年(資料班・奉仕班)毎に2名参加 ※司書講習は全体で1人とカウントする。館内で実施する研修への参加は原則としてカウントしない。 【R6の状況】 ・日本移民学会(1名) ・先進県視察：埼玉県立飯能高等学校、墨田区立ひさかね図書館、国立国会図書館(2名) ・社会教育士取得(1名) ・司書講習の受講(1名)	4人	4人	4人	4人	4人		
備考(その他の活動等)	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン利用者登録の開始(2024年12月18日) ・『みんなの図書館』2024年12月号掲載：沖縄県立図書館「空とぶ図書館」について”すべての島んちゅに本との出会いを” ・沖縄タイムス「ワラビー」2024年10月27日(日)記事掲載：空とぶ図書館について 								

II 成果指標の達成状況 (Do)

成果指標名	成果指標名	(参考)	基準値	実績値					計画値	目標値	R6年度達成状況
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6	R7	
成果指標1	市町村巡回車資料搬送点数	23,424点	22,632点	21,938点	24,064点	23,600点	23,879点		24,526点	25,000点	未達成
	状況説明	【目標値設定理由】R1実績と同程度の搬送量を維持 【R6状況】 糸満市等搬送点数が増えている市町村も多かったが、北中城村等搬送点数200点以上減少と大幅に減った市町村もあったため、計画値を達成することができなかった。									
成果指標2	未設置町村等向け貸出数	移動図書館	18,234冊	11,770冊	7,193冊	10,242冊	4,205冊	5,982冊	59,012冊	60,000冊	未達成
	一括貸出	39,172冊	40,188冊	36,412冊	40,364冊	37,895冊	37,615冊				
	協力貸出	1,750冊	3,100冊	3,296冊	2,317冊	1,727冊	2,208冊				
	合計	59,156冊	55,058冊	46,901冊	52,923冊	43,827冊	45,805冊				
状況説明	【目標値設定理由】R1実績と同程度以上 【R6状況】 移動図書館及び協力貸出は、貸出冊数が増加している。一括貸出は、利用件数は増加しているが貸出冊数は減少となっており、一件あたりの貸出冊数が減少している。										
成果指標3	成果指標名	(参考)	基準値	実績値					計画値	目標値	R6年度達成状況
	電子書籍閲覧数	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6	R7	
状況説明	【目標値設定理由】同タイプの電子書籍システムの先行導入県への聞き取りによる2020年4-6月期(新型コロナウイルス感染症の影響により利用増加傾向)の平均利用回数(A県・約750回/月、B県/約1,500回/月)の平均(1,125回×12ヶ月=13,500回)から算定 ※両県とも電子書籍の所蔵数は1,050冊程度。R3.3.10からのサービス開始となる為、R2実績を基準値としては採用せず、毎年目標値を計画値として設定する。 【R6状況】 図書館未設置離島用電子書籍サービス(R5.3.13開始)は、徐々に閲覧数が増加しているが、まだ利用が少ないため、継続して周知を行う必要がある。一般向け電子書籍については、追加購入の予算が確保できず、利用を伸ばすことができなかった。										
成果指標4	成果指標名	(参考)	基準値	実績値					計画値	目標値	R6年度達成状況
	各市町村、関係機関等満足度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6	R7	
状況説明	【目標値設定理由】満足度8割以上 【集計条件等】市町村立図書館等に対する満足度調査の満足度について、「満足」、「どちらかといえば満足」を足した割合とする。 【R6状況】 市町村立図書館：満足75% どちらかといえば満足15% どちらかといえば不満10% 回答数20件 図書館未設置町村：満足100% 回答数8件										

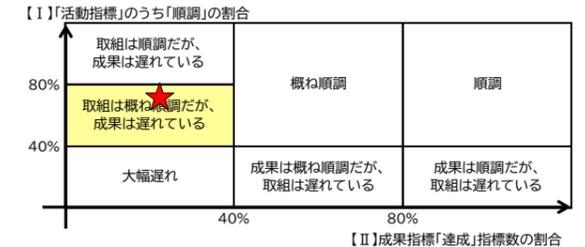
III 目標の推進状況の分析 (Check)

(1) 目標の推進状況

I 活動指標の進捗状況 (「順調」の割合)	75.0%
II 成果指標の達成状況 (「達成」の割合)	25.0%

目標推進状況	取組は概ね順調だが、成果は遅れている
--------	--------------------

「目標評価の判定基準」区分表



(2) 目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「取組は概ね順調だが、成果は遅れている」である。
活動指標については、「遠隔地返却サービス利用可能箇所数(累積値)」が概ね順調、その他の3指標は順調となった。遠隔地返却サービス利用可能箇所数(累積値)に関しては、新たな市町村立図書館や図書館未設置町村の教育委員会から加入希望がなかったため、利用可能箇所の増加は無かった。
成果指標については、「市町村巡回車資料搬送点数」、「未設置町村等向け貸出数」、「電子書籍閲覧数」が未達成となった。市町村巡回車資料搬送点数に関しては、前年度より搬送点数は増加しているが達成には至っていない。未設置町村等向け貸出数に関しては、一括貸出の貸出冊数が減少となっており、利用している団体から一括貸出のセット貸出の本が古くなっているとの意見もあるため、最新の本に入れ替えていく必要がある。電子書籍に関しては、閲覧数が減少しているため、電子書籍のタイトル充実及び周知を継続して行っていく必要がある。

(2) 目標の推進状況の分析

IV 目標の推進戦略案 (Action)

- 資料費予算の確保
- 電子書籍サービスの周知・広報の充実
- 遠隔地貸出・返却サービスの推進